

資質・能力	想定される学習内容	高等学校	
A 知識及び技能	基本的な操作等	01 効率よくキーボード入力を行うことができる。	
		02 クラウド上に共同ファイルを保存することができる。	
		03 目的に応じて適切なアプリケーションを選択し、操作することができる。	
		04 クラスまたはグループで1つのファイル上で同時編集することができる。	
	問題解決・探究における情報活用	05 インターネットから得られた情報が正しいかどうか判断することができる。	
		06 数的に調査するための方法を理解することができる。	
		07 主張と論拠、主張とその前提や反証、個別と一般化などの情報と情報の関係を理解することができる。	
		08 情報のある基準をもとに識別化し、整理する方法を理解することができる。	
		09 統計的な情報の整理・分析の方法を理解することができる。	
		10 目的に応じてグラフ化し、そのグラフから得られた情報の傾向と変化を客観的に捉える方法を理解することができる。	
		11 情報をグループ別に分ける方法を理解することができる。	
		12 WebページやSNS等を使って発信・交流する方法を理解することができる。	
		13 安全・適切なプログラムによる表現・発信の方法を理解することができる。	
		14 モデル化やシミュレーションの結果をもとに情報を活用する計画を立てる手順を理解することができる。	
		15 様々なデータや情報技術の活用方法について見直し、改善する手順を理解することができる。	
	プログラミング	16 社会に情報が流れる仕組みについて科学的に理解することができる。	
		17 社会に情報を伝える手段を理解することができる。	
		18 コンピュータ内部におけるデータの処理方法について理解することができる。	
		19 社会でどのようにコンピュータが役立てられているか理解することができる。	
		20 インターネットにおける情報通信のルールと方法を理解することができる。	
		21 コンピュータや外部装置の仕組みや特徴等を理解することができる。	
		22 問題発見・解決のためのプログラムの制作とモデル化を理解することができる。	
	情報モラル・情報セキュリティ	24 情報システムの役割や特性とその影響、情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解することができる。	
		25 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響を理解することができる。	
		26 情報に関する個人の権利とその重要性を理解することができる。	
		27 情報に関する法規や制度を理解することができる。	
		28 必要に応じた情報セキュリティの対策・対応を理解することができる。	
		29 デジタル化された情報の改ざんや漏えいを防ぐ手段を理解することができる。	
		30 情報社会における自他の責任や義務を理解することができる。	
		31 健康の面に配慮した日常的な情報メディアの利用方法を理解することができる。	
		B 思考力・判断力・表現力等	問題解決・探究における情報活用
33 分析の目的等を踏まえて、どのような情報が必要か考え、検索・検証し、情報を統計的に整理したり、順位付け・比較・分類等の「考えるための技法」を活用したりして整理することができる。			
34 目的に応じ、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して、情報をデータ化し、そのデータを使って予測する等を行いながら分析し、多様な立場を踏まえて、問題に対する多様な解決策を明らかにすることができる。			
35 目的や受け手に効果的な手段を選択・統合し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造することができる。			
36 情報及び情報技術を評価し、意図する活動の実現するための改善策について、オンラインコミュニティ等を活用しながら論理的・協働的に考えることができる。			
C 学びに向かう力・人間性等	問題解決・探究における情報活用	37 社会的・自然的な出来事等をデータとして置き換え、結び付けようとする。	
		38 物事を批判的に考え、新しいアイデアを生み出そうとする。	
		39 問題を解決するための条件のもと、情報及び技術の活用の計画を立て、試行しようとする。	
		40 情報及び情報技術を生み出そうとする。	
		41 情報及び情報技術の活用を多様な視点から評価し改善しようとする。	
		情報モラル・情報セキュリティ	42 情報に関する個人の権利とその重要性を尊重しようとする。
			43 情報に関する法規や制度の意義を踏まえ、適切に行動しようとする。
	44 情報セキュリティを確保する意義を踏まえ、適切に行動しようとする。		
	45 デジタル化された情報の改ざんや漏えいを防ぐ意義を踏まえ、適切に行動しようとする。		
	46 情報社会における自他の責任や義務を踏まえ、行動しようとする。		
	47 情報メディアの利用による健康への影響を踏まえ、適切に行動しようとする。		
	48 情報通信ネットワークの公共性を意識し、望ましい情報活用の在り方について提案しようとする。		
	49 情報や情報技術をより良い生活や持続可能な社会の構築に活かそうとする。		